



市民力第3ステージ

5つの まちづくり

9月1日(木)、『平成28年第3回登別市議会定例会』が開かれ、小笠原市長が3期目就任にあたり、市政執行に対する所信を表明しました。

今号では、その所信表明の要旨についてお知らせします。

まちづくりの5つのPOWER

- ① 未来を育むPOWER
- ② 充実した福祉を实践するPOWER
- ③ 経済発展を増幅させるPOWER
- ④ 安全で安心な社会を実現させるPOWER
- ⑤ 住み続けたいと思う地域POWER

今後4年間の市政運営にあたる私の基本的な考えを申し上げます。全国的な人口減少や少子高齢化が進む中、若い世代が三大都市圏をはじめとした大型都市へ流出するなど、地方が人口減少と高齢化の影響を強く受ける傾向が見られます。地方に人を定着させ、活力あるまちを維持するためには、他の自治体と足並みをそろえて進む画一的な行政運営のみに終始するのではなく、国が地方創生を政策の柱として、各自治体が行う独自性のある取組に対し支援するなど、地方の活性化に力点をおいていることをしっかりと受

市政運営の基本的な考え方

住み続けたいと思える
まちづくりを

私は、8月の登別市長選挙におきまして、3回目の当選の榮譽を賜り、引き続き市政執行の重責を担うこととなりました。これまでの2期8年間は、市民の皆さんとまちづくりのさまざまな情報を共有し、市民と行政が互いの力を活かした協働のまちづくりに取り組んでまいりました。

この度、皆さんの温かい支援のもと、4年間の市政運営の機会をいただきましたので、まちを取り巻く環境をしっかりとらえ、市民が主役のまちづくりをさらに成長、飛躍させるとともに、新たな試みにも積極的に取り組み、全力で市政の推進に努めてまいります。

市長就任にあたって

市民が主役のまちづくりを
さらに成長・飛躍